# 1. 2008年度 事業報告

<期間:2008年7月1日~2009年6月30日>

I. KEC2008年度のあらまし	• • • • • • 4	
II. 事業	• • • • • • 6	
Ⅲ. 組織	1 7	

# I. KEC2008年度のあらまし

多くの方々のご支援により、この1年も市民活動の支援組織として活発な活動を進めることができました。皆さまの温かいご援助やご指導に心からお礼申し上げます。

2008年度はこれまでに蒔いてきた種が育ち、つぼみが少しずつ花開いてきた1年でした。年度当初 に立てた「中期方針」では、

- 1) NPOへの経営支援の強化
- 2) NPOを支える仕組みの変革
- 3) ネットワークづくりの促進
- 4) これらを支える経営基盤、とりわけ財政の強化

を重点項目としていましたが、それぞれの領域において大きく前進し、地域の中間支援組織として必要とされる活動を活発に行うことができました。

この1年間の活動・組織両面の主なトピックスは次の通りです。

#### ①経営支援の事業が充実してきました

ここ数年力を入れてきた個別団体への継続的な支援(アドバイザー派遣)ですが、利用団体には 好評で、いくつもの団体に年度を越えて継続利用していただいています。また、支援の有効性がい くつかの助成団体にも認められ、拡がってきました。内容も改善を重ね、4月以降は個別支援プラ ス同じ分野の団体の合同研修という手法に取り組んでいます。

## ②ネットワーク活動と、それを基盤とするアドボカシー (政策提言) に力を入れました

「HYOGON」の分科会として生まれ3年目となる「ひょうごん福祉ネット」。参加団体も増え、ますます活発になってきています。神戸市行政との関係も構築中で、他のNPOとも連携して2009年度に「介護保険・制度外サービス」の実態調査事業を行う準備を進めています。NPOが担っている「制度外」の重要性を明らかにし、そこから制度化を働きかけていくという、「本丸」にいよいよ進んでまいります。KECはその立ち上げ時から裏方として重要な役割を果たしてきました。

また、高齢者支援以外の分野でもネットワーク構築の支援やアドボカシーについて協力要請があり、次の分野にどう取り組むかも重要課題です。

#### **③重要でユニークなフォーラム、研修等も実施しました**

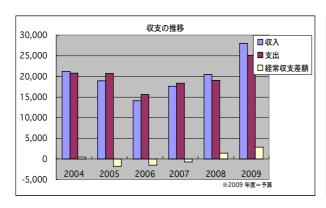
「助成財団シンポジウム」、「自主財源を強化する7つの方法」セミナーという2つの集会・研修は満員御礼となり、NPOのニーズに合ったユニークな事業を実施できました。また、住友ゴム工業(株)との協働で社員向けのボランティア活動情報の提供や、356点・23団体に及ぶ中古備品の配布を実施するなど企業との協働も始まっています。

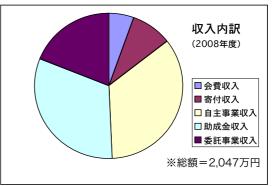
#### ④NPOの総合活動拠点「神戸元町NPOポート」が充実してきました

神戸・西元町の「秋毎ビル」 1 階・ 3 階をお借りして運営している共同オフィス「神戸元町NPOポート」ですが、 3 月に「参加型開発研究所」が入居、これでほぼ全室・ブースが埋まりました。 1 月にKECが 1 階から 3 階に移転したこともあって人の出入りも活発になり、KECを含め全 1 2 団体が入居するNPOの総合ビルになってきました。

#### ⑤財政基盤も強化されつつあります

財政面ですが、お陰様で3年続きの赤字を脱し、2008年度はわずかですが黒字を出すことができました。大きな行政委託なしで運営している中間支援組織は全国的にも皆無に近く、経営は楽ではありません。しかしその分経営の自由度は高くなり、ユニークで先駆的な事業や、きちんと収益を上げられる事業の開発に取り組むことができました。ここ数年の厳しいコスト管理や事業選択、自主事業開発などの経営努力により、単年度の黒字だけでなく、継続的に収支を均衡させる基礎体力が少しずつですがついてきたように思います。それもすべて多くの方々のご協力の賜物です。厚くお礼申し上げます。





#### ⑥体制強化が大きな課題です

上のように好調だった2008年度ですが、少数のスタッフの過重な働きに依存していたことは否定できません。次世代への交代を準備するためにも、質(働き方と給与水準)・量(人数)両面における改善が大きな課題です。そのためにも、収益力向上の努力はなお一層進める必要があります。

残念ながら社会はますます閉塞感を深めていますが、社会の混迷は、新しい時代への産みの苦しみでもあります。そんな時代の中、期待を背負って10年前に登場したNPOですが、その発展はまだまだこれからです。困難な時代の中、市民の自治意識は確実に高まってきており、その中でNPOが果たすべき・果たせる役割は決して小さくありません。KECは、社会課題にしっかり取り組み、課題解決をできるNPO、社会変革をもたらすNPOの成長を支え、自らもその一員でありたいと考えています。そのためにこれからも努力してまいります。

以下にこの1年間のKECの歩みをまとめました。忌憚のないご意見、ご批判をいただくとともに、 今後ともKECの活動を支えていただきますようお願い申し上げます。

# II. 事業

# A) NPO活動を支える仕組みづくり

#### 1. 調査研究と政策提言

3月から「NPO法人の会計基準策定」の動きが始まり、KECも関わっています。アカウンタビリティと信頼性向上、そして内部管理の両面で、NPOに大きな影響を及ぼすと考えられ、2010年春予定の基準策定まで関与してまいります。

また、2008年秋から神戸市の委託で「住生活にかかわる社会サービス実態調査」を進めました。完成は遅れましたが、NPO等26団体へのインタビューを実施、面白い調査報告をできたと思います。

一方、「NPOへの委託事業」のあり方をテーマに議論してきた「NPOと行政の協働会議・委託事業専門部会」は、2008年春以降は活動が停滞、2009年3月に委託事業に関する「Q&A」を発行して終了しました。委託という重要なテーマについて県下の中間支援NPOが集まり、県とも協働して始まった場でしたが、メンバーの足並みの乱れからこのような結果になったことは大変残念です。

# (1) NPOの財源に関する調査研究と提言 終了

2007年8月から兵庫県とNPOの協議の場である「NPOと行政の協働会議」に「委託事業のあり方に関する専門部会」が設置され、実吉がメンバーとなった(※)。「協働」の掛け声の一方で、現状では行政からの委託事業がNPOに実質的な赤字事業を強いてNPOからエネルギーを吸い取っているのではないか、という認識を共通の出発点として2008年3月までに7回の会合を持ち、検証と議論を重ねた。

「そもそも委託とは何か」「委託と委任、請負の区別」「委託の現状」「管理費・間接経費が認められにくい」「安い人件費単価」「精算手続きの問題」「補助との違いが不明確」「委託に関する行政職員の意識」「NPOの側の経営力」など議論は充実。愛知県など全国の同様の動きもフォローしつつ、論点の整理が進んだ。「みみずく」でも23号、24号でこのテーマを取り上げた。

しかし2008年4月以降、部会進行の乱れもあり活動が停滞、8月に入ってようやく活動を再開したが、最終的に2009年3月に「NPOへの委託にかかるQ&A」を作成して幕を閉じた。 <担当:実吉>

→http://www.web.hyogo-vplaza.jp/enterprise/l\_kouryu/kyoudou/qa\_l.pdf

※メンバー:前川裕司 ((特活)コムサロン 2 1 = 部会長) 、池田啓一 ((特活)都市生活コミュニティセンター) 荻野俊子 (NPO会計支援センター) 、鬼頭哲也 (兵庫県参画協働課長;2008年3月まで) 、実吉威、田中茂 ((特活)シーズ加古川) 、能島裕介 ((特活)ブレーンヒューマニティ) 、柳田吉亮 ((特活)北播磨市民活動センター) 横山佐和子 (兵庫県地域協働課長;2008年4月から) (敬称略)

## (2) NPOに関わる制度改正運動(NPO法、税制、会計基準等)

#### ○NPO法人会計基準策定プロジェクト 新規

2009年3月から始まったNPO法人会計基準策定プロジェクト に、その意思決定機関である「NPO法人会計基準協議会」の構成 団体として参加(兵庫からはKECと、荻野正会員の「NPO会計支援セ ンター」の2団体(※))。専門家を中心とする策定委員会にも毎 回オブザーバー参加している。NPO法人には現在会計基準がな く、内閣府や兵庫県など所轄庁の収支計算書モデルに多くのNPO 法人が準拠しているが、それが大きな混乱と負担の元となってい る。NPOが社会的信頼性を高め、同時に経営管理能力を高めるた キックオフイベント「NPO法人の会計基準をつくろう めには、より簡素で実態に合った会計基準を策定することが必要 であり、KECもその議論に関与してゆく。2010年3月に会計基準 案を提示予定。NPO法、税制度については特記すべき活動はなし。 <担当:実吉>



~NPO法人の信頼性向上のために~」 (2009年3月31日)

※同プロジェクトの掲示板とブログ:

http://bbs4.sekkaku.net/bbs/npokaikei2.html

http://npokaikei.blog63.fc2.com/

※2009年6月現在。その後、(特活)シーズ加古川が参加。

#### ○安全・安心で持続可能な未来に向けた社会的責任に関する円卓会議 新規

2008年3月、企業、消費者、労働組合、金融機関、NPO/NGO、専門家、行政の関係者が構成する「安全・ 安心で持続可能な未来に向けた社会的責任に関する円卓会議」(円卓会議)が発足。政府だけでは解決できない 社会的課題に対して、さまざまなセクターがコンセンサスをとりながら、対等な立場で議論と合意を行うとされ ている。 (http://sustainability.go.jp/forum/)

KECは、この会議に代表者を送り出している「NNネット」(社会的責任向上のためのNPO/NGOネットワー ク) に、2009年6月から参加している。 <担当: 実吉>

※その後政権交代を経て、この円卓会議については先行きが不透明になっている。

## (3) その他の調査

#### ○「住生活にかかわる社会サービス実態調査」事業 新規

神戸市都市計画総局住宅部住宅政策課の委託事業で、市内のNPO等26団体へのインタビュー調査を実施。 現行のマスタープラン「住宅基本計画」を改訂し、次期の「住生活基本計画(仮称)」策定のための基礎資料とし て、「住生活サービス」の新たな担い手となっているNPO等の実態を把握しようと実施されたもの。市内の NPOの充実した活動ぶりと市民の住生活における「ベーシック・ヒューマン・ニーズ」をNPOが支えている実 態、そしてその活動を支える仕組みの必要性を明らかにした。 <担当: 実吉、八十、中原寿>

#### ○「NPO共同事務所施設」調査事業(事務局=関西国際交流団体協議会)

前々年度から継続の調査事業で、本年完成の報告書に原稿を執筆した。 <担当: 実吉>

(構成団体)(特活)関西国際交流団体協議会(事務局)、(社福)大阪ボランティア協会、(特活)市民活動センター神戸 (特活)市民フォーラム21・NPOセンター、(特活)せんだい・みやぎNPOセンター

## 2. NPOのための資源開発事業

#### (1) 外部資源開発事業

# ○住友ゴム工業「GENKIスクエア」事業 新規

住友ゴム工業(株)からの依頼を受け、同社の社員向けに毎月1回、ボランティア活動情報を収集して届ける「住友ゴム・GENKIスクエア」事業を行っている('09年1月~)。

2月には、同社の新社屋への移転に伴う中古備品のNPOへの提供を手伝い、23団体に机、椅子、キャビネットなど356点におよぶ提供をコーディネートした。 <担当:山田、中原元、興津、実吉>





中古備品見学会・配布の様子(2009年2月7日)

#### ○その他

日本NPOセンターのご仲介で明治製菓(株)のお菓子10ケースを8団体に、ふくおかNPOセンターのご仲介で(株)NTTドコモ九州支社の卓上カレンダー500個を8団体に、それぞれ提供する仲介を行った。

阪急阪神ホールディングス(株)の社会貢献活動について、近畿地方の他の支援センターとともに意見交換会に参加した。 <担当:山田、中原万、藤田、興津、実吉>

# (2)NPO助成財団シンポジウム 新規 終了

2009年2月21日、全国および地元兵庫の助成財団・基金13団体が神戸に集まり、講演から交流会まで5時間におよぶシンポジウムを開催した。定員をはるかにオーバーする参加者を集めた。

NPOにとって重要な資金源でありながら、どこか敷居の高い「助成財団」の実情や思いと、現場のNPOの関心や思いをつなげる充実した場となった。 <担当:実吉、八十、中原寿、藤田、山田、興津、中原万>

開催:2009年2月21日(土)午後1時~6時、神戸市勤労会館(神戸市中央区)にて

参加者:139名(定員100名)

参加財団·基金:

木口ひょうご地域振興財団、キリン福祉財団、しみん基金・KOBE、助成財団センター 損保ジャパン環境財団、損保ジャパン記念財団、電通育英会、トヨタ財団、日本財団、日立環境財団 ひょうごボランタリー基金、三井物産株式会社(三井物産環境基金)、三菱財団

第1部 基調講演:松原明さん(シーズ・市民活動を支える制度をつくる会事務局長;KEC理事) 第2部 パネルディスカッション:

キリン福祉財団/特定非営利活動法人たかとりコミュニティセンター 損保ジャパン記念財団/特定非営利活動法人マザーサポートの会 日本財団/社会福祉法人まほろば 第3部 フロアディスカッション「助成財団とNPOの望ましい関係とは」

第4部 交流会

主催:NPO支援財団研究会、市民活動センター神戸

共催・協力:兵庫自治学会および関西の25の中間支援組織





基調講演(左)とパネルディスカッション(右)

## 3. 情報発信事業

「みみずく」の年3回発行と、ウェブサイトおよびメールでの情報発信の革新、充実を目指しましたが、今年も「みみずく」は2回発行、ウェブはイベント等の告知程度にとどまり、メールマガジンに至っては着手できませんでした。

一方、今年度は他の事業分野で3つの報告書を作成しました。A、Bについては関心のある中間支援 NPOなどに配布もしました。

- A) 「子育てNPOへの経営支援と仕組み作り事業」報告書(2009年3月、200部=事業5(2))
- B) 「自主財源を強化する7つの方法」シンポジウム報告書(2009年3月、100部=事業5(5))
- C) 「住生活にかかわる社会サービス実態調査」報告書(2009年3月、1部/増刷予定=事業1(3))

#### (1)機関誌「みみずく」の発行(ひょうごボランタリー基金助成)

上期1号、下期1号の発行。NPOセクター全体に関する情報提供や啓発記事を中心におきながら、各号とも、アドバイザー派遣などで関わりの深いNPOにその分野で起こっていることをレポートしていただいた。抽象的になりがちなKEC自身の記事と比べ具体性に富み、切り口の違う文章が掲載できた。発行スケジュール管理が最大の課題である。 <担当:諏訪、八十、実吉>

第25号 9月10日発行、8ページ、3,000部 第26号 3月20日発行、12ページ、3,000部

#### (2)メールマガジンの発行

メールマガジンとしては発行できず。講座情報や企業等からの提供グッズ情報などを、個別のBccメールで数回発信した。

## (3) ウェブサイト

イベント等のお知らせの発信、事務局カレンダーの更新程度にとどまった。ボランティアで更新作業を担って

くれている山口正会員の提案もあり、旧情報の整理・取り下げは進んだ。

インターン・興津さんの担当プロジェクトとして、「NPOポート」入居団体およびみみずく舎の取引先の紹介ページが掲載された。

# (4) FMわいわいでの情報発信 休止

神戸市長田区に拠点を置く「FMわいわい」で次のNPO関連番組を、日比野正会員を中心とするわいわいスタッフとともに制作、発信した。

- ○「恋する!NPO」・・・毎週木曜日午後9時~10時(再放送;日曜日午後4時~) 第2木曜「ゲストコーナー」(実吉)、第1、3、4木曜「NPO徒然草」(八十 or 実吉) 番組改編に伴い、10月で終了。
- ○「ふれてあれこれアイtoアイズ・作業所 crafts カタログ」・・・毎週火曜日午後2時~3時 みみずく舎和気店長が担当、作業所商品を紹介。 番組改編に伴い、12月で終了。
- ※電波のほか、インターネットでも放送を聴くことができる。
  - → http://www.tccll7.org/fmyy/internet/index.html

## (5) 「サンケイリビング」紙での情報発信

神戸市内全域と明石市内の住宅に毎週各戸配布される情報紙「サンケイリビング」で、月1回NPOからの情報発信コーナーがあり、その情報収集と編集を担当している。KEC会員・HYOGON会員をおもな対象に、ボランティア募集やイベント告知の場として利用いただいている。 <担当:山田、中原万>

## 4. ネットワーク事業

## (1) ひょうご市民活動協議会(HYOGON)事務局

今年度も事務局を継続受託。交流サロン「HYOGONカフェ」や今年で3年目の「賀詞交換会」など交流が活動のメインになり、発足当初に比べればこぢんまりしてきたものの、引き続き求心力のあるネットワークを維持している。 <担当:実吉>

#### (2) 他団体の役員就任、研究会への参加等

実吉事務局長が、下記の役員、委員等を務めた。

- ○特定非営利活動法人 日本NPOセンター 理事 (任期='08年6月~'10年6月)
- ○ひょうご市民活動協議会 運営委員・事務局長(任期='08年6月~'09年6月)
- ○兵庫県長期ビジョン推進委員会委員(任期='07年10月~'09年3月、'09年4月~)
- ○神戸市・神戸市民円卓会議('07年8月~)

また、八十職員が下記のネットワークに個人会員として参加した。

○ひょうごDV被害者支援連絡会(HYVIS) **新規** 

# B) NPO支援

## 5. NPOの経営支援事業

今年度も経営改善の個別サポートに重点を置き、「アドバイザー派遣系事業」での支援にいっそう力を入れました。団体ごとに4~8回程度、継続的にアドバイザーとして伺い、運営上の課題とその解決策の整理と中長期の展望づくりのお手伝い、経営ノウハウのアドバイス、団体内部の合意形成の支援等を行い、経営の強化・改善に役立てていただいています。さらに5(2)事業では、多くのNPOに共通の課題を報告書にまとめました。1件1件中身の濃い相談を実現しているのはよいのですが、その濃さゆえに新規団体にはハードルが高いようで、新規顧客を開拓する新たな機会づくりが課題となってきました。(支援団体数:2009年3月まで=計15団体、2009年4月以降=9団体)

相談事業の一環として、正会員島田誠さんが準備されている「神戸文化支援基金」の設立(一般財団法人)と、公益財団法人へ向けた準備をお手伝いしています。2009年秋には一般財団法人として発足の予定です。

研修事業では、ゲストに適任者を得てセミナーは好評を博しました。一方「学び支援事業」(講師派 遣)は件数・金額ともに昨年度より増えたものの、営業活動にはまだ努力の余地を残しました。

「ひょうごん福祉ネット」はここまで順調に盛り上がってきて神戸市行政との関係も築きつつあります。KECはその副事務局として重要な役割を果たしてきましたが、今後、「制度外事業の制度化」に踏み込めるかどうか、これからが正念場というところです。

## (1) 相談事業

#### ○個別の相談

単発的な相談は少なくなってきている。 <担当:八十>

○「NPOのための会計・労務相談」

会計・労務の2人の専門家の協力を得、定例相談日を設定。

<会計>荻野俊子さん (NPO会計支援センター代表) 月1回、利用3件

<労務>石田信隆さん(NPO労務サポーター;社会保険労務士)月2回、利用1件

- ○「NPOワンコイン相談」(毎週水曜):利用1件(2回)
- ○その他有料相談(助成金申請など)

法人化相談、会計相談、助成金申請相談などの専門相談や、アドバイザー派遣事業の期間超過部分の 有料対応、など計20件

## ○「財団法人神戸文化支援基金」設立の支援 新規

正会員でもあるアート・サポート・センター神戸代表・島田誠さんの、新たな基金設立構想の相談を受け、制度改革成った公益財団法人の設立をめざし支援中。認定NPO法人との比較、税制の有利・不利、事務手続きなどを調査・検討し助言した。新年度、一般財団法人を設立し、その後公益認定を受け公益財団法人を目指す予定。 <担当:実吉>

## 次項以降の3種・5事業((2)~(4))を「アドバイザー派遣系事業」と呼んでいます

# (2)子育てNPOの経営支援と仕組み作り事業 (~2009年3月) 終了 ネットワークによる経営手法の共同開発事業 (2009年4月~) 新規

(KECアドバイザー派遣事業;独立行政法人福祉医療機構(WAM)「長寿・子育て・障害者基金」助成)

2008年4月から始まった、子育て系を中心とする「制度外のサービスを担う」福祉分野のNPOへの出張型経営支援。初年度は8団体にアドバイザーを6ヶ月前後派遣、その後支援プロセスの検証を行い、まとめとして2009年3月に報告会を開催し、報告書を発行した。

2009年4月からは同じWAMから2年間継続助成を受けることが決まり、対象を子育て系NPOに絞ってアドバイザー派遣と合同研修会の開催により支援を行っている。

●08年度派遣先団体	担当アドバイザー
(特活)はらっぱ(西宮市;4回)	今田
(特活)ぴっぴ(神戸市西区;5回)	
(特活)淡路島ファミリーサポートセンターまあるく(淡路市;4回)	
(特活)こどもコミュニティケア(神戸市須磨区;4回)	実吉
(特活)リーフグリーン(神戸市長田区;8回)	
(特活)女性と子ども支援センターウィメンズネットこうべ(神戸市須磨区;2回)	八十
W·Sひょうご (神戸市;2回)	
(特活)ウィズネイチャー(神戸市長田区;3回)	東末
(特活)淡路島ファミリーサポートセンターまあるく(淡路市;2回)	
●09年度派遣先団体	
(特活)こどもコミュニティケア(神戸市垂水区)、(特活)はらっぱ	実吉
(特活)ぴっぴ	八十
合同研修会参加団体	
(派遣先3団体も参加)	
サンタッタひろば (西宮市)	
(特活)保育ネットワークミルク(三田市)	
保育ルームぱんぷきんハウス (神戸市東灘区)	

#### (研究会メンバー)

今田忠(KEC理事)、江口聰((特活)しみん基金・KOBE)、荻野俊子(NPO会計支援センター)、実吉威、東末真紀((特活)神戸まちづくり研究所)、八十庸子

(事業コーディネーター)

今田忠





2008年度の事業報告会(2009年3月1日)と報告書

## (3) NPOの中長期計画づくり支援事業(ひょうごボランタリー基金助成)

新規

NPOの中期計画作成の支援を最終目標とする事業だが、単年度で達成されるものではなく、本年度中はそこへ向けたさまざまな準備段階の作業にあたった。2009年度も継続。

(特活)福祉ネットワーク西須磨だんらん(神戸市須磨区;5回)

(特活)CAPセンター・JAPAN (西宮市; 6回)

以上、実吉担当

頭部外傷や病気による後遺症を持つ若者と家族の会・兵庫支部(神戸市東灘区;1回) 八十担当

## (4) NPO等育成アドバイザー派遣事業・小規模作業所等事業サポーター事業

(いずれも神戸市委託、事務局=(特活)神戸まちづくり研究所)

両事業とも、引き続き(特活)神戸まちづくり研究所を中心とする連合体で受託。いずれも2009年度も継続。

#### ○NPOアドバイザー派遣事業

アドバイザー4人で8団体に対し計42回派遣(~2009年2月)。KEC担当分は以下のとおり。

(特活)福祉ネットワーク西須磨だんらん(神戸市須磨区;10回)

実吉担当

頭部外傷や病気による後遺症を持つ若者と家族の会・兵庫支部(神戸市東灘区;9回)

W・Sひょうご (神戸市;6回)

以上、八十担当

NPO

自主財源<強化+。 7 つの方法

中田スーパーバイザー:ケース検討に参加

#### ○作業所サポーター事業

サポーター5人で12団体に対し計42回派遣(~2009年2月)。KEC担当分は以下のとおり。

小規模作業所萌友=for vou(神戸市須磨区;5回)

1~2回和気担当、3~5回八十担当

共働作業所すずらん(神戸市北区;2回)

身障コウベの会<ワークホーム兵庫> (神戸市須磨区;5回) 以上、八十担当

実吉サポーター:ケース検討に参加

## (5) 研修事業

#### ○「NPOの自主財源を強化する7つの方法」セミナー

終了

(国際交流基金日米センター(CGP)との共催)

CGPの「NPOフェローシップ」(米国へのNPOスタッフ派遣制度)経験者による帰国報告会を上記のテーマで開催した。2007年度で終了した派遣制度の「帰国報告会」であったが、地域のNPOのニーズに合

う講座に仕立てた結果、定員を上回る参加を得、参加者満足度も高かった。

講演録を報告書にまとめ発行した。 <担当:興津、藤田、実吉、八十>

開催:2008年8月2日、あすてっぷKOBE (神戸市中央区) にて

参加者:56名(定員50名)

講 師:岩附由香さん(特活)ACE代表理事

鈴木歩さん (特活)シーズ・市民活動を支える制度をつくる会コミュニケーション・ディレクケー





セミナー (2008年8月2日) の様子と報告書

#### (6) 学び支援 (講師派遣) 事業

派遣実績としては昨年度よりは件数・金額ともに増加したが目標(計150万円)には達せず。 <担当:八十> 講師派遣 16件 (実吉13件、八十3件) 計1,250,400円(昨年度比+42%) 研修受入 7件 計169,850円(同+23%)

## (7) 講座企画事業

上記(6)と類似だが、企画をパッケージで請け負うもの。

## ○青年研修事業(タイ・障害者支援コース;国際協力機構(JICA)委託) 新規

タイで障害者支援に携わる35歳未満のスタッフ14人を受け入れ、日本の障害者支援の現場視察・交流を通して 自国の支援制度のあり方を考えてもらう。本年度は準備のみ。 <担当:実吉、八十>

実 施:2009年7月9日~21日(研修期間:10日間)

視察先など:神戸市、西宮市、奈良市の障害者支援施設、生活施設等

#### (8) ひょうごん福祉ネット支援事業

HYOGON (ひょうご市民活動協議会)を母体に生まれ3年目となる「ひょうごん福祉ネット」は、参加団体も増え、ますます活発になってきている。

2008年3月に正式発足ののち、設立記念フォーラム(同6月)、学習会(同7月、9月)、共同広報パンフレットの制作など、ユニベール財団・しみん基金・KOBEの2つの助成も得て2008年度は多くの事業に取り組んだ。その活発な活動もあって、年度後半には神戸市福祉行政(保健福祉局)や他のNPOネットワーク(神戸東部NPOサービスセンター)との連携も進んだ。

新年度はいよいよ「介護保険・制度外サービス」の実態調査事業を行おうと準備を進めている。ここまでは比較的順調に来たが、「制度外事業の制度化」に踏み込めるかどうか、これからが正念場。KECはその副事務局として裏方を支えてきたほか、実態調査事業の事務局を担う予定。 <担当:実吉、八十>

#### (主な活動)

- ○月例の情報交換会
- ○学習会・フォーラム

地域福祉サポートちた代表理事・松下典子さん

「地域に必要なもう一つの公共・NPO」 (2008/6)

神戸ライフ・ケアー協会理事長・神谷良子さん

「ケアマネジメントにおける枠外サービス〜現状と課題」(2008/7)

厚生労働省関東信越厚生局企画調整課長・荒川英雄さん

「コミュニティケアを考える~介護保険のこれからと 枠外サービス」 (2008/9)

○共同広報パンフレットの制作、ホームページの立ち上げ など



厚生労働省の荒川さんを迎えて(2008年9月6日)

#### (構成団体) 18団体

(特活)ケアット、(特活)神戸障害者自立支援福祉協会

(特活)神戸ライフ・ケアー協会、(特活) C O M総合福祉研究所、(特活)市民活動センター神戸、(特活)花たば

(特活)東灘地域助け合いネットワーク、(特活)ひょうご・まち・くらし研究所、(特活)福祉ネット星が丘

(特活)福祉ネットワーク西須磨だんらん、(特活)ゆいまーる神戸、(特活)リーフグリーン、わくわく神戸【以上、神戸市】

(特活)市民サポートセンター明石【明石市】、(特活)アイアイネット【三木市】

(特活)都市生活コミュニティセンター【西宮市】、(特活)さわやか北摂【川西市】

(特活)淡路島ファミリーサポートセンターまあるく【淡路市】

(このほか、個人会員6名、賛助会員6名;2009年6月現在)



※2009年度は「制度外サービス」の実態調査を実施中で、ネットワークもさらに拡大しています。

## 6. NPOへの拠点提供(神戸元町NPOポート運営)事業

秋毎株式会社のご支援で運営している市民活動の共同オフィス「神戸元町NPOポート」、1月に入居団体に移動をお願いし、KECが1階(北)から3階(南)に移った。その後3月に「参加型開発研究所」が入居、「シェアデスク」を除く全室・ブースが埋まった。

人の出入りも活発になり、KEC、有限会社みみずく舎と 1 階商店街側の「フェアトレードショップみみずく舎」を含め全 1 2 団体が入居するNPOの総合ビルになってきた。 1 2 日当:山田、八十>

#### 【2009年6月末現在入居状況】

(1部屋) 兵庫県学童保育連絡協議会・神戸市学童保育連絡会 < 3階(西) > (特活)緑の森自然キャンプ協会 < 1階(北) >

<以下いずれも3階(北)>

(1区画) (特活)子どもフレンドリーネット・神戸(旧・チャイルドライン神戸推進委員会)、参加型開発研究所 (1 デスク) (特活)エコレンジャー、(特活)和太鼓教育研究所、(特活)パソコンを弾く研究会

(シェアデスク (SD) ) (特活)DEFC

※退去団体;大阪市立大学都市研究プラザ(~'09年3月)

(郵便箱サービス) (特活)女性と子ども支援センターウィメンズネットこうべ、インパクト関西、げんきdeネット

		~6月	08/7月	8月	9月	10月	11月	12月	09/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月~
	学童保育連絡会														
室	緑の森自然キャンプ														
_ _	子どもフレンドリーネット														
画	参加型開発研究所														
_	エコレンジャー														
デ	大阪市大都研プラザ														
スク	和太鼓教育研究所														
	パソコンを弾く研究会														
s	DEFC														
D	大阪市大都研プラザ														

※KECホームページ (http://www.kobekec.net) 上で入居団体をご紹介しています。

## 7. 「みみずく舎」業務受託事業

終了

有限会社みみずく舎が経営し、その運営をKECがともに担ってきた「フェアトレードショップみみずく舎」だが、2008年秋、和気店長個人に経営譲渡し独立、KECの運営受託は終了した。2008年11月から、商号はそのまま、取引先や取扱商品もほぼ以前のままで、和気さん個人の店として引き続き営業している。

2009年秋に再び経営変更の可能性が出てきているが、「フェアトレードショップみみずく舎」の発展・継続のために、KECとしては引き続きサポートしてゆく。

<担当:和気、実吉、八十>



#### 8. その他の事業

## (1) 能登半島地震被災地支援事業 (中央共同募金会(支援P) 助成)

能登半島地震から1年半が経つのを機に、ゲストを招いて能登や復興や地域について語り合う会を開いた。写真 集「いとしの能登 よみがえれ!」発行、映画「能登の花ヨメ」の公開時期とも重なり、さまざまな話題で盛り上 がった。みみずく舎で行ってきた"Buy 能登キャンペーン"の一環。 <担当:八十>

開催:2008年10月9日、秋毎ビル2F会議室にて

参加者:22名

ゲスト:谷内博史さん 能登復興いやさかフォーラム事務局長、能登の旨美フェスタ実行委員長

村井雅清さん 被災地NGO恊働センター代表

特別ゲスト:「能登の花ヨメ」監督・白羽弥仁さん、方言監修・嶽徹さん

## (2) 会館事業(印刷機、プロジェクター等貸出)

NPO向けに印刷機、プロジェクター、スクリーンなどを有料貸し出し。

## (3) みみずく書房事業

NPO関連書籍の販売。本年度のおもな売上は『助成金応募ガイド2008』『対話でわかるNPO会計』『人間性未来論』『いとしの能登 よみがえれ!』『NPOのためのアドボカシー読本』『知っておきたいNPOのこと』シリーズなど。

## (4) 民間公益活動研究会(通称・今田塾)

今田忠理事を「塾長」に、NPOなど民間公益活動のあり方と社会システムに関する勉強会を開催。春日野道事務所時代の2001年に事業として行った第1期、第2期「今田ゼミ」から数年を経て内部の勉強会として復活。第3期は正会員の自主勉強会として実施した。第4期は関西の若手・中堅NPOスタッフなど会員外にも拡大して2009年7月にスタートしている。(第3期テキスト:助成財団センター編「民間助成イノベーション」、雨森孝悦「テキストブックNPO」、ドラッカー「非営利組織の経営」)

# Ⅲ. 組織

# 1. 会議

## (1) 総会

#### ○2008年度通常総会

日 時 2008年9月13日(土) 16:30~18:40

場 所 秋毎ビル会議室(市民活動センター神戸事務所2階)

出席者 正会員59名(うち表決委任者32名) (正会員総数67名)

審議事項 第1号議案 2007年度事業報告案承認の件(全会一致で承認)

第2号議案 2007年度決算報告案承認の件(全会一致で承認)

報告事項 2008年度事業計画ならびに収支予算

#### ※参考

#### 2009年度通常総会

日 時 2009年8月23日(日) 15:00~17:30

場 所 秋毎ビル会議室(市民活動センター神戸事務所2階)

審議事項 第1号議案 2008年度事業報告案承認の件(全会一致で承認)

第2号議案 2008年度決算報告案承認の件(全会一致で承認)

第3号議案 2009~2010年度役員選任の件(全会一致で承認)

報告事項 2009年度事業計画ならびに収支予算

#### (2) 理事会

	開催日	審議事項	出席者
第40回	2008年8月21日	2008年度事業計画案および収支予算	理事11名(うち表決委任4名)、監事1名
		案承認の件 (→承認)	
第41回	2008年10月20日	2009年度事業計画・収支予算の修正	理事10名(うち表決委任4名)
		の件 (→承認)	
第42回	2009年3月18日	なし	理事12名(うち表決委任5名)、監事1名
第43回	2009年6月22日	2009年度事業計画案および収支予算	理事13名(うち表決委任4名)、監事1名
		案承認の件 (→承認)	

## 2. 会員

(正会員) 期首時点65名 → 期末69名

4名増、減なしで純増4名。

#### (賛助/利用/購読会員)

	2006年度末	2007年度末	2008年度末	前年比(うち新規)
賛助/個人	1 4	4 6	71名	+25 (3)
賛助/団体	6	2 0	23団体	+3 (2)
利用/個人	4	5	4名	-1 (0)
利用/団体	1 4	1 1	20団体	+9 (3)
購読	3 7	1 6	6名/団体	-10 (0)
計	7 5	9 8	124名/団体	+26 (8)

※目標=賛助・利用会員あわせて130人・団体。

目標達成には至らなかったものの、会員数は増加基調を維持している。現会員の約9割が2回目以上の継続会員で、5回以上の更新をしてくださっている会員も48名・団体ある。みなさまのご支援に感謝するとともに、新しい支援者・利用者を増やす努力をもっとしなくてはならない。

なお、購読会員は「みみずく」が年2回程度のペースとなっていることから新規に募集せず、「賛助」「利用」 での入会、継続をお願いしている。

## 3. 役員

2008年度は改選期ではなく、前年度からの役員体制が継続した。(任期:2007年9月2日~2009年8月23日) 役員体制は34ページ参照(2009年8月23日の通常総会にて全員重任)

## 4. 事務局

2008年10月までは「フェアトレードショップみみずく舎」の運営をKECが行っていたため、KEC常勤2名 (実吉、八十)、みみずく舎 (店舗側) 常勤2名 (和気、中原寿)、それに常勤アルバイト1名 (藤田)の5名 を中心とする体制であった (下の表・上段)。

11月より「フェアトレードショップみみずく舎」の経営が分離したため、KECとしては常勤・非常勤4名(実 吉、八十、藤田、中原寿)中心の体制となった(下の表・下段)。

期間を通じて、会計担当の山崎さん(週1日)、「神戸元町NPOポート」ほかいくつもの事業を担って頂いた山田さん(週2~3日)、中原万さん(週2日)、興津さん(不定期)をはじめとする多くのボランティアが事務局業務の重要な部分を担ってくださった。

#### 【'08年7月~10月】

		1	
	KEC	兼任	みみずく舎
常勤スタッフ	実吉威(事務局長) 八十庸子		和気克子(店長) 中原寿子('08年4月~)
	藤田研('08年8月~)		
事務局ボランティア	藤田研('08年7月)	山崎ゆり	近藤仁美
		山田裕美	
インターン	興津慶(~'08年8月)		櫻井亜莉沙

#### 【'08年11月~'09年6月】

	KEC
常勤スタッフ	実吉威 (事務局長)
	八十庸子
	藤田研(~'08年12月)
非常勤スタッフ	藤田研('09年1月~3月)
	中原寿子('08年11月~'09年2月)
	美甘亜貴('09年6月~)
事務局ボランティア	山崎ゆり
	山田裕美
	中原万紀子('09年1月~)
	興津慶

(敬称略)

また、ウェブや機関誌の制作、それに引っ越しなどで次の方々に強力なサポートを頂戴しました。

【ウェブ制作ボランティア】山口真司さん

【「みみずく」レイアウトボランティア】宮崎悦子さん

【引っ越し・大工ボランティア】岡野由和さん、諏訪晃一さん

KECはふたたび、常勤2名を中心とする小規模な事務局に戻った。おそらく県内の中間支援組織と呼ばれる団体の中でも予算・人員ともに最小サイズだが、そろそろ人員を拡充し、体制を強化すべき時にきている。

## 5. 謝辞

今年も多くの皆さまのご支援で活動をすることができました。

ご寄付・ご助成、ご入会、ボランティア、活動へのご参加等々さまざまな形がありますが、

どんなスタイルであれ、一人一人のお気持ちに、私たちの活動は支えられています。

心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

これからも、皆さまのお志を大切に活動してゆきたいと思います。

#### 【追悼】赤塚和俊さん

NPO会計税務専門家ネットワーク(前)理事長で、永年NPOセクターの発展に尽力されてきた公認会計士・税理士の赤塚和俊さんが2009年1月、58歳で亡くなられました。私たちの活動の大先輩であり、当会も永く賛助会員として支えて頂いていました。謹んで哀悼の意を表します。

#### 【正会員】(2009年10月現在)

相川康子、青田良介、朝野まどか、渥美公秀、尼川洋子、雨森孝悦、池田啓一、石川知子、磯辺康子、今田忠ウラベノリコ、江口聰、大岡頼光、岡本仁宏、興津慶、荻野俊子、粕谷史朗、加田裕之、金谷信子、狩野育子亀井尚也、川口謙造、木口一郎、喜多陽太郎、橘高由美、絹川正明、桑原英文、坂本憲治、実吉威、品田房子島田誠、末永美紀子、直田春夫、諏訪晃一、田浦彩子、竹内瞳、田尻佳史、田中康文、長沢恵美子、中田豊一中原寿子、新田英理子、早瀬昇、飛田雄一、日埜昭子、日比野純一、藤田研、藤野達也、法橋聡、松原明宮崎洋彰、室崎益輝、森田博一、八十庸子、八ツ塚一郎、山口真司、山崎ゆり、山下淳、山田裕美、吉野太郎渡辺元 (匿名希望1名)

#### ※2009年7月以降入会の正会員:

阿部嘉男、石田易司、井上小太郎、大橋正明、尾崎力、角谷陽子、桑原美千子、島田京子、菅磨志保、出口正之 土肥直紀、中塚華奈、西栄一、野村文宏、藤井敦史

(合計77名)

#### 【寄付者】

今田忠、江口聰、金谷信子、金子義輝、木村功、小林正平、佐々木康哲、佐藤三郎、沢野美由紀・瑠璃、杉万俊夫 鶴田厚子、土肥直紀、中原寿子、西池陽一、水林義博、森崎耕一

(特活)てみずの会、電通古本市の会、(特活)とんだばやし国際交流協会、(特活)ひょうご・まち・くらし研究所 (匿名希望および掲載のご意思不明: 4名)

#### 【助 成】

(独法)福祉医療機構(WAM)「長寿・子育て・障害者基金」、(社福)兵庫県社会福祉協議会(ひょうごボランタリー基金) (社福)中央共同募金会、(社福)神戸市中央区社会福祉協議会

#### 【共催事業の負担金拠出】

NPO支援財団研究会、(独法)国際交流基金日米センター、兵庫自治学会



【物品ご寄贈他】秋毎株式会社、大阪ガス株式会社、住友ゴム工業株式会社

#### 【賛助会員/個人】

赤須治郎、赤塚和俊、芦谷恒憲、池山明義、石田信隆、石田易司、泉房穂、稲原珠実、犬塚裕雅、上田耕蔵 遠藤勝裕、大日向郁夫、落合弘、角谷陽子、掛水すみえ、金子義輝、神谷陽子、川島正隆、木岡伸夫、河野正和 後藤才正・路子、小林郁雄、小林るみ子、児矢野マリ、阪口春彦、坂田謙司、坂西卓郎、実吉一夫・照子 芝崎信子、菅磨志保、菅祥明、杉田哲、杉万俊夫、関嘉寛、空野仁志、高橋倫恵、谷公一、千葉武、筒井耕二 筒井のり子、長嶋弘之、中山初枝、西池陽一、西山志保、野崎隆一、林康子、東田寿啓、廣野種生、福田登 藤田秀一、藤原靖子、フンク・カロリン、前川大、増田宏幸、松原敬次、室雅博、八ツ塚としえ、山崎一夫 山根金造、吉兼由貴子、吉田忠彦、渡部万里子 (匿名希望および掲載のご意思不明9名 計71名)

#### 【賛助会員/団体】

(特活)アイアイネット、赤羽かずよし後援会、(特活)いしかわ市民活動ネットワーキングセンター、NGO自敬寺 (特活)CAPセンター・JAPAN、(社福)きらくえん、(特活)神戸コダーイ芸術教育研究所、(特活)古代遺跡研究所 (特活)在宅福祉支援グループ・コスモス、(株)ジェイシーシー、(特活)新開地まちづくりNPO、(特活)拓人こうべ (特活)てみずの会、(特活)日本障害者スポーツ射撃連盟、(特活)汎太平洋フォーラム、兵庫県震災復興研究センター (特活)ひょうご・まち・くらし研究所、(特活)ひょうごセルフヘルプ支援センター (特活)フェミニストカウンセリング神戸、(特活)福祉ネットワーク西須磨だんらん、(特活)ポプリ (特活)マザーズサポーター協会、(特活)まちの案内推進ネット、みなと元町タウン協議会 (計23団体)

#### 【利用会員/個人】

井上淳之典、大谷成章、高龍弘 (掲載のご意思不明:1名 計4名)

#### 【利用会員/団体】

(特活)淡路島ファミリーサポートセンターまあるく、インパクト関西、(特活)LGBTの家族と友人をつなぐ会グリーンランドプロジェクト、げんきdeネット、(特活)神戸アイライト協会、神戸フリースクール (特活)KOBEふれあいの会、神戸ポリオネットワーク、(特活)COM総合福祉研究所、(特活)市民サポートセンター明石 (特活)女性と子ども支援センターウィメンズネット・こうべ、(特活)しらゆり会、自立生活センターリングリング住友ゴム工業 (株)、W・Sひょうご、(特活)知的障がい児者支援ネット姫路 (特活)知的障害児・者療育サポートセンターくれよん、(特活)福祉ネット星が丘、ぼちぼちはうす (計20団体)

#### 【購読会員】

(財) 横浜市男女共同参画推進協会

#### 【ボランティア】

岡野由和、興津慶、近藤仁美、櫻井亜莉沙、品田房子、諏訪晃一、中原万紀子、藤田研、宮崎悦子、山口真司 山崎ゆり、山田裕美

※個人の方は、お名前掲載のご了解が得られた方のみ、お名前を掲載しています。掲載、不掲載について 今後変更されたい場合は、事務局までご連絡ください。

※以上、正会員以外はいずれも2008年7月1日~2009年6月30日分。敬称略。五十音順。